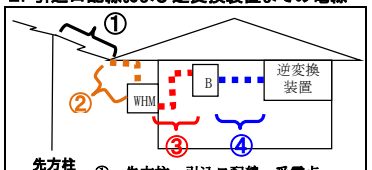
低圧太陽光発電設備技術検討用資料（JET認証品用）

お客さま名	○○○○○○○○

1. 直 流 発 電 機

項目	仕 様	
種別	多結晶シリコン	
型式	＊＊＊－＊＊＊＊	
製造者	○○○○株式会社	
出力特性	発電設備総出力	5.0 kW
	【モジュール1枚当たり】	
	最大出力:	160 W
	モジュール枚数:	25 枚
	【モジュール1枚当たり】	
	最大出力:	100 W
	モジュール枚数:	10 枚
	【モジュール1枚当たり】	
	最大出力:	W
	モジュール枚数:	枚

2. 引込口配線および逆変換装置までの電線



①：先方柱～引込口配線　受電点
②：引込口配線　受電点～WHM※1
③：WHM※1から分電盤までの配線
④：分電盤～逆変換装置までの配線

	①※2	②	③	④
電線種別	DV3	CVT	CVT	CVT
電線サイズ	22sq	22sq	22sq	5.5sq
長さ	5m	12m	8m	3m

※1：WHMは差分用計器ではない
※2：先方柱がある場合のみ，①欄へ記入ください。

【引込口配線および逆変換装置までの電線に関する記載上のお願い事項】
技術検討に伴う電圧上昇計算に使用するため，内線の電線種別，電線サイズ，長さを記載ください。
これにあてはまらない場合は，単線結線図等に記入ください。

3. 逆潮流の有無

逆潮流　有・無

4. 逆 変 換 装 置

認証登録	有・無	承認登録番号	MP-XXXX
型式	＊＊－＊＊＊＊	製造者	○○○○株式会社

組合せ台数	1台

【組合せ台数に関する記載上のお願い事項】
直流発電機と逆変換装置の同一組合せの台数を記載ください
直流発電機と逆変換装置の異なる組合せの場合には，**組合せごとに低圧太陽光発電設備技術検討用資料を記載**ください。

項目		仕様			項目	仕様	
交流出力関連	電気方式	単相2線式(単相3線式に接続可能)			自動電圧調整装置	有・無	
	電圧	200V	最大出力	4.5kW		最大110Vまでの整定可否	
	設定力率時の皮相電力			4.5kVA		可・否	
	設定力率時の出力			4.3kW		整定上限値（ご希望がある場合）	V

【自動電圧調整装置に関する記載上のお願い事項】
自動電圧調整装置の整定値は，お客さま構内の電圧と発電可否に影響しますので，ＨＰ掲載の「太陽光発電の発電抑制について」をご一読頂き，お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。
（発電設備の製品仕様を記載する項目ではございませんのでご注意ください。）
◇最大110Vまでの整定可否
余剰電力に伴う電圧上昇による発電抑制を回避するため，自動電圧調整装置の整定値を110V以下の範囲で整定することに同意される場合には「可」，同意されない場合には「否」に○を記してください。
◇整定上限値（ご希望がある場合）

		系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値					系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値	
		検出レベル（整定範囲）	検出時限（整定範囲）	検出レベル	検出時限				検出レベル	時限	検出レベル	検出時限
系統事故対策	過電圧(OVR)	115%（110～120%）	1秒（0.5～2秒）	※	※	単独運転検出対策	受動的方式	電圧位相跳躍検出	±3～±10度	～0.5秒	±6度	0.5秒
	不足電圧(UVR)	80%（80～90%）		※	※			3次高調波電圧歪急増検出	+1～+3%			
	周波数上昇(OFR)	61.2Hz（60.6～61.8Hz）		※	※			周波数変化率検出	±0.1～±0.3%			
	周波数低下(UFR)	58.2Hz（57.0～59.4Hz）		※	※			その他（　）				
お客さま構内事故対策		過電流素子（OC）付漏電遮断器		適・否			能動的方式	ステップ注入付周波数フィードバック方式	－	瞬時		
		製造者		極・素子数				その他（　）				
		逆接続	可・否	型式			連系の再開		自動・手動	復電後		秒
		標準値（整定可能範囲）		お客さま設備整定値			力率一定制御		有・無		設定力率	0.95
並列時許容周波数		60.1[Hz]（+0.1～+1.0[Hz]）		※		※標準値外の場合のみ記入						
備考												

【力率一定制御に関する記載上のお願い事項】
系統連系規程において，低圧力率一定制御（力率値９５％）を標準的に採用することが規定されました。
詳細は，ＨＰ掲載の「太陽光発電における低圧パワーコンディショナ―の力率一定制御（力率９５％）の採用について」を参照願います。

【お客さま設備整定値に関する記載上のお願い事項】
標準値外となる場合のみ整定値をご記載ください。

5. 引込方式（特例適用の場合のみ記入する。）

引込方式	別引込方式・共用引込方式（Y分岐）
発電機設置者と需要場所の電気の使用者	同一・相違

【特例措置における引込方式に関する記載上のお願い事項】
引込方式は，工事費負担金や太陽光発電の出力抑制に影響しますので，ＨＰ掲載の「太陽光全量買取における引込方式の選択について」をご一読頂き，お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。
◇引込方式
希望される引込方式に○を記してください。
◇発電機設置者と需要場所の電気の使用者
共用引込方式を選択された場合，発電機設置者と需要場所の電気の使用者が同一かどうかについて当てはまるものに○を記してください。
別引込方式を選択された場合は記載不要です。

6. 単線結線図，平面図

単線結線図には，PCS箇所，電線情報（種別，サイズ，長さ）及び漏電遮断器情報（容量，極・素子数，逆接続可能の有無）を記入する。
平面図には，受電地点，分電盤箇所，電力量計箇所，PCS箇所を記入する。
差分計量申込みの場合，単線結線図と平面図に買取用計器と差分用計器の設置箇所を記入する。

7. JET認証証明書

JET認証証明書（写）を添付のこと。

工事店情報		
電気工事店名	○○電気工事	様
ご担当者名	△△　△△	様
連絡先	000-0000-0000	

8. サイバーセキュリティ対策

系統連系に際して、サイバーセキュリティ対策の実施、セキュリティ管理責任者の氏名及び緊急時連絡先を通知いただく必要があるため、その確認をさせていただきます（対策内容を確認しチェックください）。

□ 系統連系技術要件に基づいた以下のサイバーセキュリティ対策を実施します。
1:外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備の制御に係るシステムへの影響を最小化するための対策
2:発電設備の制御に係るシステムへのマルウェアの侵入防止対策

セキュリティ管理責任者			
氏名	北陸　太郎	電話番号	○○○－○○○○－○○○○

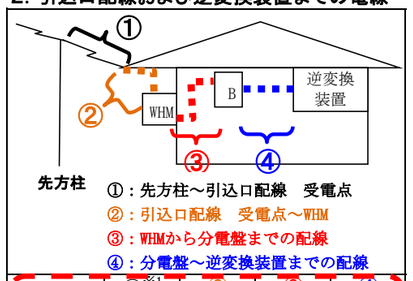
低圧太陽光発電設備技術検討用資料（JET認証品以外）

お客さま名	○○○○○○○○

1. 直 流 発 電 機

項目	仕 様	
種別	多結晶シリコン	
型式	＊＊＊－＊＊＊＊	
製造者	○○○○株式会社	
出力特性	発電設備総出力	5.0 kW
	【モジュール1枚当たり】	
	最大出力：	160 W
	モジュール枚数：	25 枚
	【モジュール1枚当たり】	
	最大出力：	100 W
	モジュール枚数：	10 枚
	【モジュール1枚当たり】	
	最大出力：	W
	モジュール枚数：	枚

2. 引込口配線および逆変換装置までの電線



	①※1	②	③	④
電線種別	DV3	CVT	CVT	CVT
電線サイズ	22sq	22sq	22sq	5.5sq
長さ	5m	12m	8m	3m

※1：先方柱がある場合のみ，①欄へ記入ください。

【引込口配線および逆変換装置までの電線に関する記載上のお願い事項】

技術検討に伴う電圧上昇計算に使用するため，内線の電線種別，電線サイズ，長さを記載ください。
これにあてはまらない場合は，単線結線図等に記入ください。

3. 逆潮流の有無　　逆潮流　有 ・ 無

4. 逆 変 換 装 置

形式	＊＊－＊＊＊＊	組合せ台数	1台
		製造者	○○○○株式会社

【組合せ台数に関する記載上のお願い事項】

直流発電機と逆変換装置の同一組合せの台数を記載ください
直流発電機と逆変換装置の異なる組合せの場合には，**組合せごとに低圧太陽光発電設備技術検討用資料を記載**ください。

項目		仕様		項目		仕様	
交流出力関連	電気方式	単相2線式(単相3線式に接続可能)		制御電源	保護継電器	直流電源	
	電圧	200V	最大出力 4.5kW		遮断装置	直流電源	
	設定力率時の皮相電力		4.5kVA	混触防止用変圧器		有 ・ 無 ／ 高周波絶縁トランス内蔵	
	設定力率時の出力		4.3kW			直流検出	225 mA　時限 0.5 秒以内
主回路方式	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式		自動電圧調整装置		有 ・ 無	
	スイッチング方式	正弦波PWM方式				最大110Vまでの整定可否	可 ・ 否
	絶縁方式	高周波絶縁トランス内蔵				整定上限値（ご希望がある場合）	V
電力制御方式		有効電力抑制制御		自動同期機能		有 ・ 無　／自動式の場合必須	
内部保護	DC過電圧	355 V	時限 0.5 秒	現流リアクトル		有 ・ 無　／自動式のため不要	
	DC不足電圧	75 V	時限 0.5 秒	高調波電流歪率		総合	各次
	AC過電流	33.75 V	時限 0.5 秒			5 %以下	3 %以下

【自動電圧調整装置に関する記載上のお願い事項】

自動電圧調整装置の整定値は，お客さま構内の電圧と発電可否に影響しますので，ＨＰ掲載の「太陽光発電の発電抑制について」をご一読頂き，お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。
（発電設備の製品仕様を記載する項目ではございませんのでご注意ください。）
◇最大110Vまでの整定可否
余剰電力に伴う電圧上昇による発電抑制を回避するため，自動電圧調整装置の整定値を110V以下の範囲で整定することに同意される場合には「可」，同意されない場合には「否」に○を記してください。
◇整定上限値（ご希望がある場合）

	系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値			系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値	
	検出レベル（整定範囲）	検出時限（整定範囲）	検出レベル	検出時限		検出レベル	時限	検出レベル	検出時限
系統事故対策 過電圧(OVR)	115%（110～120%）	1秒（0.5～2秒）	※	※	単独運転検出対策 受動的方式 電圧位相跳躍検出	±3～±10度	～0.5秒	±6度	0.5秒
不足電圧(UVR)	80%（80～90%）		※	※	3次高調波電圧歪急増検出	＋1～＋3%			
周波数上昇(OFR)	61.2Hz（60.6～61.8Hz）		※	※	周波数変化率検出	±0.1～±0.3%			
周波数低下(UFR)	58.2Hz（57.0～59.4Hz）		※	※	その他（　）				
お客さま構内事故対策	過電流素子（OC）付漏電遮断器		適 ・ 否		能動的方式 ステップ注入付周波数フィードバック方式	－	瞬時		
	製造者	△△△△	極・素子数	3P3E	その他（　）				
	逆接続	可 ・ 否	型式	△△△△	連系の再開	自動・手動	復電後	300 秒	
	標準値（整定可能範囲）		お客さま設備整定値		力率一定制御	有 ・ 無		設定力率	0.95
並列時許容周波数	60.1[Hz]（+0.1～+1.0[Hz]）		※		※標準値外の場合のみ記入				
備考									

【力率一定制御に関する記載上のお願い事項】
系統連系規程において，低圧力率一定制御（力率値９５％）を標準的に採用することが規定されました。
詳細は，ＨＰ掲載の「太陽光発電における低圧パワーコンディショナーの力率一定制御（力率９５％）の採用について」を参照願います。

【お客さま設備整定値に関する記載上のお願い事項】
標準値外となる場合のみ整定値をご記載ください。

5. 引込方式（特例適用の場合のみ記入する。）

引込方式	別引込方式 ・ 共用引込方式（Y分岐）
発電機設置者と需要場所の電気の使用者	同一 ・ 相違

【特例措置における引込方式に関する記載上のお願い事項】
引込方式は，工事費負担金や太陽光発電の出力抑制に影響しますので，ＨＰ掲載の「太陽光全量買取における引込方式の選択について」をご一読頂き，お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。
◇引込方式
希望される引込方式に○を記してください。
◇発電機設置者と需要場所の電気の使用者
共用引込方式を選択された場合，発電機設置者と需要場所の電気の使用者が同一かどうかについて当てはまるものに○を記してください。
別引込方式を選択された場合は記載不要です。

6. 単線結線図，平面図

単線結線図には，PCS箇所，電線情報（種別，サイズ，長さ）及び漏電遮断器情報（容量，極・素子数，逆接続可能の有無）を記入する。
平面図には，受電地点，分電盤箇所，電力量計箇所，PCS箇所を記入する。
差分計量申込みの場合，単線結線図と平面図に買取用計器と差分用計器の設置箇所を記入する。

7. 逆変換装置（PCS）仕様書

8. 工場試験成績書

工事店情報		
電気工事店名	○○電気工事	様
ご担当者名	△△　△△	様
連絡先	000-0000-0000	

9. サイバーセキュリティ対策

系統連系に際して、サイバーセキュリティ対策の実施、セキュリティ管理責任者の氏名及び緊急時連絡先を通知いただく必要があるため、その確認をさせていただきます（対策内容を確認しチェックください）。

☐ 系統連系技術要件に基づいた以下のサイバーセキュリティ対策を実施します。
1:外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備の制御に係るシステムへの影響を最小化するための対策
2:発電設備の制御に係るシステムへのマルウェアの侵入防止対策

セキュリティ管理責任者			
氏名	北電　太郎	電話番号	○○○－○○○○－○○○○